

上毛新聞 (15 面)

掲載日：2019年6月16日(日)



介護、保育の重要性を理解

群馬パース大福祉専門学校
オープンキャンパス

群馬パース大福祉専門学校(神野明男校長)のオープンキャンパスが15日、渋川市の同校で開かれた。高校生と保護者約20人が教員や学生の学校

説明を受け、進学希望に胸を膨らませた。

神野校長は「人工知能が発達しても、直接人と接する仕事は残り続ける」と介護や保育の重要性を指摘。1日から同校に導入した介護ロボット「PALRO」も紹介した。

参加者はじゃんけんやボール投げ、伝達ゲームで子どもの接し方を体験。30枚の紙を用いたタワー作りで介護に必要な思考過程を学ぶ実習も行った。写真。

オープンキャンパスは来月6日にも実施。午前10時～午後0時半。要予約。問い合わせは同校(80279・60・7010)へ。